

田の浜

防災緑地の横断車道を

実現できるように国と協議



黒 沢 一 成 議 員
(無 所 属)

問 田の浜地区の復旧について、住民説明会を行い、町長も住民の強い要望を聞いた。6月中には結論を出したいとのことであったが、その後の進展は。

佐藤町長 要望のある防災緑地の中央部を横断する車道については、引き続き国との協議を重ね、実現を目指す。

問 馬指野ニュータウンは、町道から流入する水量も多い。排水対策は。

町長 上流域で沢や道路の横断側溝が土砂で閉塞し、馬指野川への排水ができない状況となった。対策として、土砂の撤去と、断面の大きい排水管への入れ替えなどの改良工事を行った。

尾建設課長 馬指野集落内の水路を変更・整備して越水を防ぐ計画もたれている。

問 被害は、町内各所にあった。本復旧工事の予定表を町民に示せないか。

町長 災害復旧工事は、入札不調が増える心配がある。随時、計画を見直



豪雨・津波対策のために車道整備が望まれます

しながら進める必要があり、予定表の公表は考えていない。

問 半期ごとの予定でも地域住民は安心するのでは。

建設課長 大まかな部分であれば検討したい。

学校給食

子ども向けのメニューを

児童生徒の意見も取り入れたい

問 開始から2か月だが順調に実施されているか。子どもたちに不評なメニューもあると聞く。子ども向けのメニューを増やせないか。

佐々木教育長 給食は試行錯誤を重ねながらも順調に実施している。メニューは食育の観点から食材の良さや栄養摂取の必要性を学ぶ機会でもあるが、喜ばれるよう工夫に努める。

箱山教育次長 メニューの作成では季節や行事に合わせたものを取り入れている。また、家庭科の時間を利用してメニューを考えたり、アンケートを実施したりすることも検討しており、子どもたちの意見も取り入れていきたい。

まちなか循環線

利用状況は

低調、
周知はかる

問 公共交通のまちなか循環線の利用状況は。

町長 4月が166人、5月が138人。4月1日号の広報やまに折り込み、全戸配布をして周知した。

問 周知不足では。

川守田復興企画課長 新型コロナウイルスの影響もあると思うが、利用についての周知は考えていく。今年度は試験運行であり、その状況、町民の要望などを聞いて来年度の本運行に生かしたい。